

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

プレレイル高齢大腸がん患者のための臨床的 提言 支持・緩和医療に関する提言

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcoloproctology/74/6/74_349/pdf/-char/ja

■1 牛車腎気丸

疾患:

CIPN(末梢神経障害)

引用など:

1) Loprinzi CL, Lacchetti C, Bleeker J, et al. Prevention and Management of Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy in Survivors of Adult Cancers: ASCO Guideline Update. *Journal of clinical oncology: official journal of the American Society of Clinical Oncology* 2020; 38: 3325-48.

2) Jordan B, Margulies A, Cardoso F, et al. Systemic anticancer therapy-induced peripheral and central neurotoxicity: ESMO-EONS-EANO Clinical Practice Guidelines for diagnosis, prevention, treatment and follow-up. *Ann Oncol* 2020; 31: 1306-19.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ3: プレレイルな高齢大腸癌患者に対して、オキサリプラチン含む抗がん薬を施行する(している)場合、配慮すべきことは何か?』に対して、解説「3. CIPN に対する薬物療法」の項に、以下の記載がある

『発症後の治療よりも発症予防の方が、QOL への影響が大きい高齢者では特に重要である。国内で使用されることの多い、ビタミン B、牛車腎気丸、アミトリプチリンなどの抗うつ薬(デュロキセチン除く)、プレガバリンなどの抗痙攣薬、カルシウム・マグネシウムなどは、ASCO ガイドラインでは予防に関する一定のエビデンスの中でベネフィットが認められなかったため使用しないことを推奨しており、ESMO ガイドラインでも、ビタミン B や牛車腎気丸は推奨度 D(generally not recommended)、アミトリプチリンなどの抗うつ薬やカルシウム・マグネシウムなどは推奨度 E(never recommended)と記載されている』